

志純齋
儀





記

石

尾

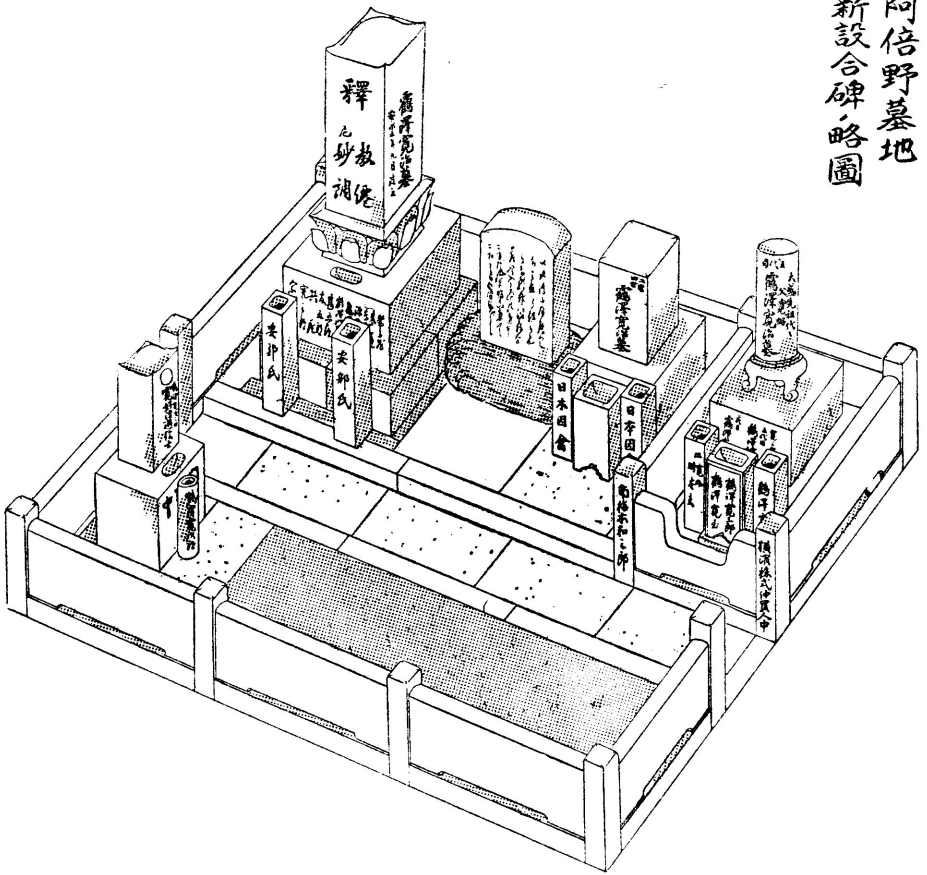


五世鶴澤寛治五拾年忌ニ當リ養嗣子
 鶴澤寛治郎事大盛千之助ハ廢頽セル
 累代無縁ノ墓碑ヲ集祀シ併テ新碑ヲ
 建立シテ後世寛治襲名者ノ合祀ニ便
 ナラシム茲ニ竣功ニ際シ其ノ美舉ヲ
 贊シ需ニ應シテ由來ヲ記ス

昭和八年貳月五日

六花 加藤 亨

阿倍野墓地
新設合碑略圖



リナト場齋新南東地番一設新區貳 所場

りけり

（白）
（白）
（白）
（白）
（白）

海浪もめて國も海を津風技とてな
以代かきやわしお相生の松をぬきとて
は実やわとて花とておちるや
とめを茂建豊ある君れも花有花き君
の如くそ有花の美ぬるの森蛇の
疾もとて心ある住の江れ松げもらう

祝詞相送
高砂
徳道慰筈

リナ本寫七清澤鶴代初シ但二共付節ノ後退引治寛澤鶴代初
(藏所那治寛澤鶴代二)

寶曆十年



座本 豊竹

豊竹越前守様

長柄園長柄人柱

頭取	三味線	四角	四角	四角	初段
...

動出治寛 代初 リナ演上目度二時此座竹豊日五十月八年十歴寶
(藏所氏夫太靱古竹豊代二)

明和三年 (此時書下也)



大座本 豊竹

本朝共四孝

三味線	大辰目	四角	四角	四角	初段
...

動出治寛 代初 リナシ下書時此座本竹日四十月正年三和明
(藏所氏夫太靱古竹豊代二)

寛政四年

三味線
川島...
大序...
二...
三...
四...
五...
六...
七...
八...
九...
十...
十一...
十二...
十三...
十四...
十五...
十六...
十七...
十八...
十九...
二十...
二十一...
二十二...
二十三...
二十四...
二十五...
二十六...
二十七...
二十八...
二十九...
三十...


寛政四年七月初五日北堀江ノ芝居 初代寛治勤出
(二代豊竹古觀夫氏所藏)

三味線
佛羅...
大序...
二...
三...
四...
五...
六...
七...
八...
九...
十...
十一...
十二...
十三...
十四...
十五...
十六...
十七...
十八...
十九...
二十...
二十一...
二十二...
二十三...
二十四...
二十五...
二十六...
二十七...
二十八...
二十九...
三十...

大奉書田吉
三月十六日...

文化六年二月十六日天滿天神社芝居 二代寛治勤出
(二代豊竹古觀夫氏所藏)

神靈矢口渡
二及月
小田該
蔵合福徳錦
三及月
八の月
三味線



豊初
大蔵
大蔵


中三月三

三味線
八の月
三及月
蔵合福徳錦
小田該
二及月
大蔵

豊初
大蔵
大蔵

リナ代時衛兵八 勤出治寛 代三 居芝内境靈御日三月三年九化文
 (藏所氏夫太靱古竹豊代二)

日本賢女鑑 十一段
三味線
十一
九
八
七
六
五
四
三
二
一



日本賢女鑑
十一段
三味線
十一
九
八
七
六
五
四
三
二
一

大治

ルナト治寛メ改吾文時此 勤出治寛 代四 居芝内境摩座月正年九政文
 (藏所氏夫太靱古竹豊代二)

天保五年

(せむらとまき 辰巳竹々園 大蔵所氏夫大観古竹豊代二)

(出勤 大蔵所氏夫大観古竹豊代二)

	<p>目 武蔵野... 秋田... ...</p>	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...
	

勤出治寛 代四 居芝内境荷裕リヨ日六廿月二十年五保天
(蔵所氏夫大観古竹豊代二)

安政元年

	<p>大序 二ノ目 三ノ目 四ノ目 五ノ目 六ノ目</p>	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...	竹本...
	

(蔵所氏夫大観古竹豊代二) 勤出治寛 代四 居芝詰東橋池御月正年元政安
ルナト郎晋大時一リ依ニ故事時此

明治七年

大藥座 八味 胡本 續造

本藥座 八味 胡本 續造

三味線

大序 八味 胡本 續造... 三味線... 八味 胡本 續造... 大序 八味 胡本 續造...

明治七年二月松嶋芝居 五代寛治出動 (二) 此再場出寛改メ寛治ナトル 四目代重夫ヲテ

明治七年

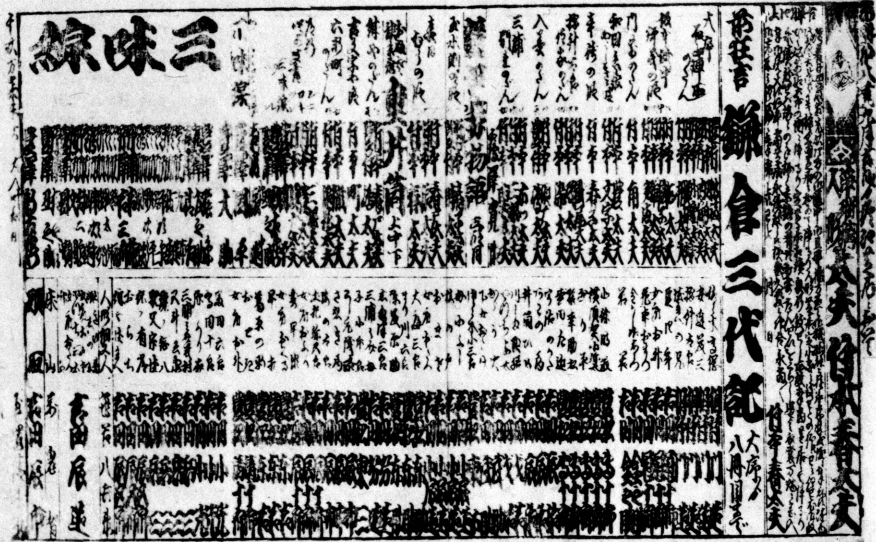
大藥座 八味 胡本 續造

八味 胡本 續造

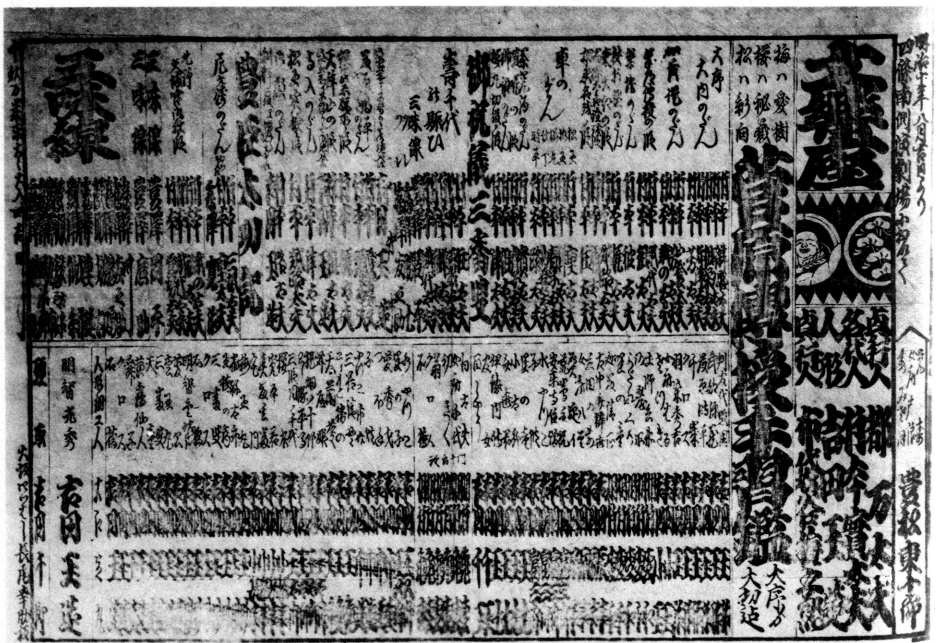
三味線

大序 八味 胡本 續造... 三味線... 八味 胡本 續造... 大序 八味 胡本 續造...

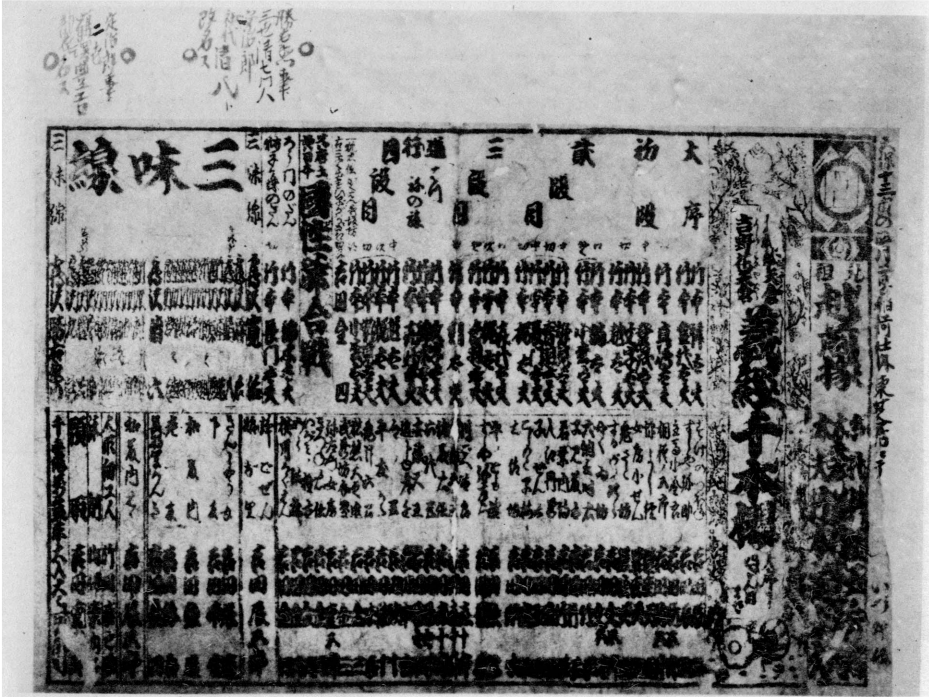
明治七年四月松嶋芝居 五代寛治出動 (二) 文見郎氏所藏



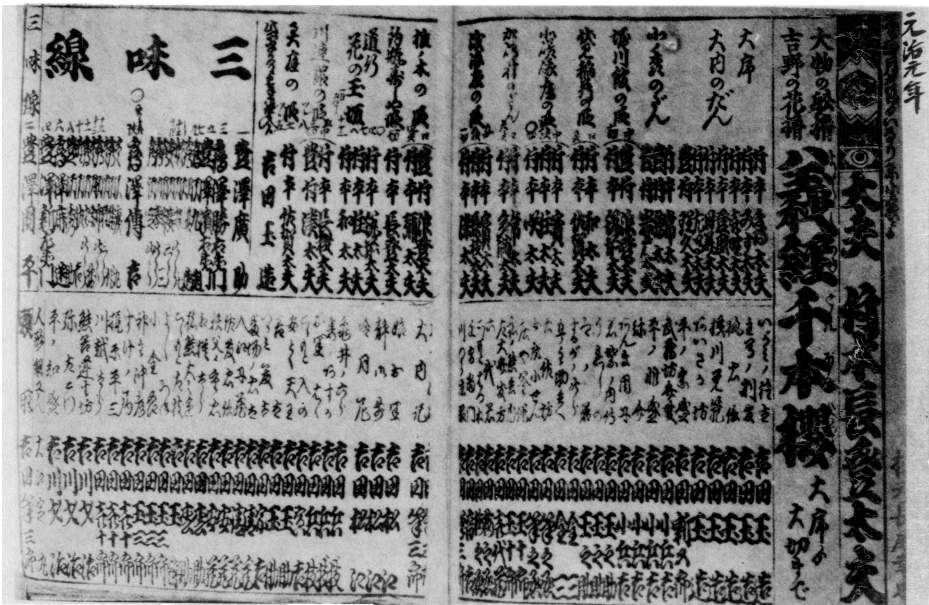
勤出治寛 代五 居芝江堀月九年八治明
 (藏所郎治寛澤編代二)



勤出治寛 代五 居芝側南條四都京月八年十治明
 (藏所郎治寛澤編代二)



天保三十年正月二日 居芝東内社荷稻月二
 代二 寛代五 勤出吉豊 改郎治定
 (リナ匠師ノ治)



元治元年 居芝東内社荷稻月四年元治元
 代四 番ニ上ノ玆三ト夫太) ルナト吉傳
 (リナノモシセ示チ方手相ハルアシ付號)

慶應三年

北條三郎 洋朔別

大序 大序

邊江源氏先傳部 九月日迄

三味線
 大序 大序
 高文事人 竹幸 長松太夫
 四下云出 竹幸 長松太夫
 小吹初階 竹幸 長松太夫
 盛怒 竹幸 長松太夫
 津池狂歌 竹幸 長松太夫
 長松太夫 竹幸 長松太夫
 高角屋の辰 竹幸 長松太夫
 常々の辰 竹幸 長松太夫
 通乃旗の川 竹幸 長松太夫

(藏所氏郎次女見二) 勤出吉傳 代四 居芝東内社荷稻月七年二應慶

慶應二年

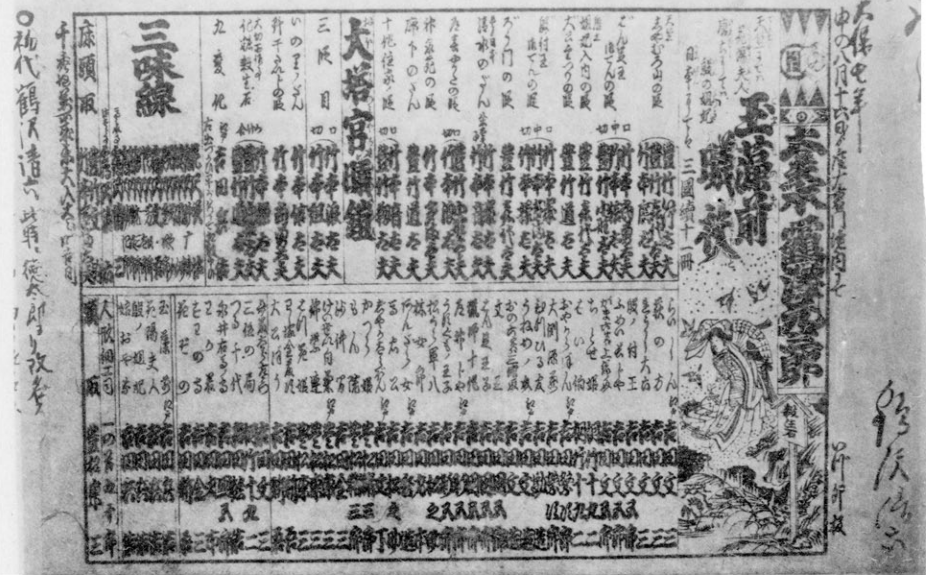
洋朔別

大序 大序

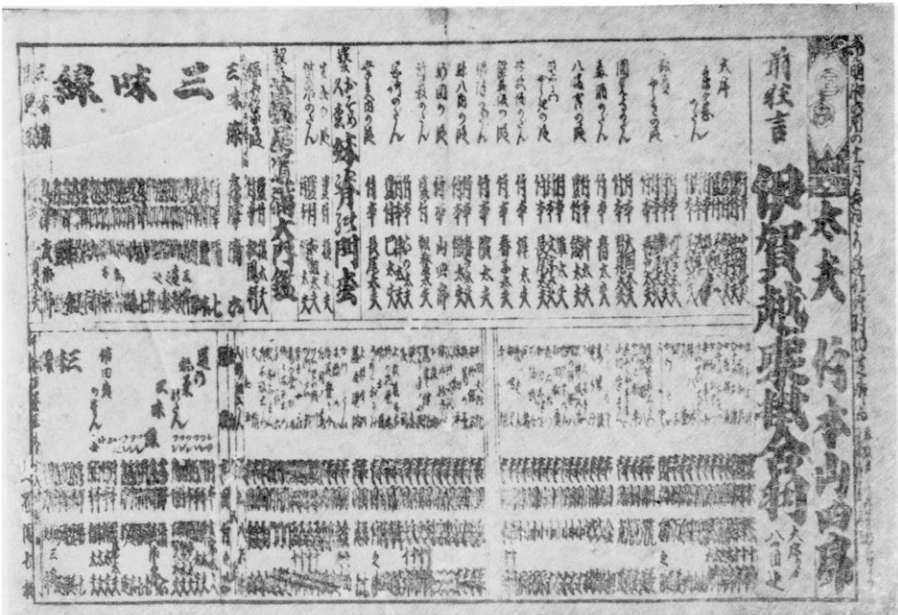
大序 大序

三味線
 大序 大序
 共法の辰 竹幸 長松太夫
 高角屋の辰 竹幸 長松太夫
 常々の辰 竹幸 長松太夫
 通乃旗の川 竹幸 長松太夫
 長松太夫 竹幸 長松太夫
 高角屋の辰 竹幸 長松太夫
 常々の辰 竹幸 長松太夫
 通乃旗の川 竹幸 長松太夫

(藏所氏郎次女見二) 居芝東内社荷稻月十年二應慶 (退ス引テニ是)勤出吉傳 代四



天保七年八月十日
 居芝内境座日六十月八年七保天
 (藏所氏夫太靱古竹豊代二) 代五) 勤出六清 代初) ム改取太徳
 (リナ匠師リ預治寛)



天明六年十月十一日
 居芝田竹堀頓道月一十年六治明
 (藏所氏夫太靱古竹豊代二) 勤出六清 代初)

吉軒太夫
甄別之段

初代

朝魚日記
四段目切
重奏太夫
下巻竹嘆
落書物語

四目 重奏太夫 政太夫
夫太咲木竹目代七

藏所氏夫太軒古竹豊代二 本やしあ
(藏所郎治寛澤鶴代二本顔朝、雪薄)

リナ夫太治寛代五
リナ夫太六清代初

リナ夫太吉傳代四

萱竹添去夫

竹本春去夫

萱伴周平

竹本松去夫

萱澤淡去夫

鶴澤清七

鶴澤清四

萱澤慶助

野澤吉去夫

竹本深去夫

竹本登去夫

萱澤彩去夫

口古若中

竹本山西

竹澤休七

鶴澤左治郎

周連中

鶴澤清六

萱澤寛治

鶴澤寛治

萱澤寛治

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

口古若中

ルニ見跡ノ慮考ニ置位ノ夫太重リナ書下ノ物刷露披名改治寛代五

(名 戒 統 一 家 治 寬)

<p>俗名 四代 鶴澤寬治</p> <p>大阪市住吉區阿倍野墓地</p>	<p>俗名 二代 鶴澤寬治</p> <p>大阪市住吉區阿倍野墓地</p>	<p>寬好淨遊信士</p> <p>文政四年三月十一日 三代 鶴澤寬治</p> <p>大阪市住吉區阿倍野墓地 千日前自安寺(舊所在地)</p>	<p>釋教 僊</p> <p>大正四年十二月四日 初代 鶴澤寬治</p> <p>大阪市住吉區阿倍野墓地 中寺町泰聖寺(舊所在地)</p>
<p>鶴壽院寬治日翁信士</p> <p>明治十七年二月五日 大盛寬治郎 五代 鶴澤寬治</p> <p>大阪阿倍野墓地 中寺町妙壽寺(舊所在地)</p> <p>三十六歲</p>	<p>信行院本心日寬信士</p> <p>明治十六年二月十七日 大盛八兵衛 鶴澤寬好</p> <p>五代寬治父</p> <p>八十歲</p>	<p>釋清嚴</p> <p>明治十一年五月二十三日 萬屋清六 初代 鶴澤清六</p> <p>大阪天王寺墓地 五代寬治師匠</p> <p>六十五歲</p>	<p>願海信士</p> <p>慶應二年十二月四日 中島屋由兵衛 四代 鶴澤傳吉</p> <p>大阪北區不動寺 五代寬治師匠</p> <p>四十二歲</p>
<p>信樂院釋入定居士</p> <p>大正四年七月十六日 水野好太郎 五代 鶴澤仲助</p> <p>二世寬三郎改メ</p> <p>五十一歲</p>	<p>大雲院釋是相居士</p> <p>明治十四年二月二十二日 鈴木繁藏 五代 野澤吉兵衛</p> <p>東京市東中野源通寺 大阪天王寺六万休町吉祥寺 二代寬治師匠</p> <p>七十一歲</p>	<p>釋遊聲</p> <p>明治十九年十二月四日 三島福松 六代 野澤吉彌</p> <p>大阪六万休町吉祥寺 二代寬治師匠</p> <p>三十三歲</p>	<p>釋遊聲</p> <p>明治十九年十二月四日 三島福松 六代 野澤吉彌</p> <p>大阪六万休町吉祥寺 二代寬治師匠</p> <p>三十三歲</p>

初代 鶴澤寛治略歴 (榎橋ト言フ)

三二改メ初代鶴澤友治郎門人ニテ (西區立賣堀榎橋住居本名龜次郎) 寛延三年八月七日和田合戦女舞鶴(二度目上演)

豊竹座へ鶴澤龜次郎ニテ始メテ出場 (三弦筆頭鶴澤萬五郎筆止野澤文五郎)

寶歷二年十二月七日倭假名在原系圖豊竹座へ出勤 (三弦筆頭鶴澤改メ富澤萬五郎筆止野澤文五郎)

同三年七月廿八日雄結勘助島豊竹座へ出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

同年十月苜萱桑門築柴轅豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

寶歷四年二月廿一日相馬太郎孝文談豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

寶歷四年七月廿九日義經腰越狀豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

同年十二月十五日天智天皇苜穂庵豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

寶歷五年四月廿一日三國小女郎曙櫻豊竹座出勤 (三弦筆頭

筆止同ジ)

同年七月七日双扇長柄松豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

同年十一月一日後三年奥州軍記豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

寶歷六年三月十八日義仲勳功記豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

同年十一月一日甲斐源氏櫻軍記豊竹座出勤 (三弦筆頭鶴澤重次郎筆止富澤藤次郎)

寶歷七年三月廿日前九年奥州合戦豊竹座出勤 (三弦筆頭筆止同ジ)

同年八月十五日清和源氏十五段 (三度目上演) 此時豊竹筑前少掾一世一代山伏攝待ノ段出語ワキ豊竹鐘太夫ツレ豊竹

此太夫三弦鶴澤龜次郎ニテ出勤 (三弦筆頭同ジ筆止同ジ龜次郎ハ筆下二枚目ノ位置ナリ)

寶歷七年十二月五日祇園祭禮信功記豊竹座出勤 (三弦筆頭)

鶴澤重次郎筆止鶴澤千左衛門鶴澤龜次郎筆上二枚目トナル此興行大當リニテ三年越トナル

寶歷九年十二月七日先陣浮洲巖豊竹座出勤（三弦筆頭鶴澤

重次郎筆止鶴澤龜次郎ナリ）

寶歷十年三月十一日櫻姫賤姫櫻豊竹座出勤（三弦筆頭鶴澤

重次郎筆止鶴澤龜次郎）

同年八月十五日攝津長柄人柱（二度目上演）豊竹座出勤

（此時龜次郎改メ寛治トナル筆止位置ナリ筆頭鶴澤重次郎）

（寫真版参照）

寶歷十年十二月十一日祇園女御九重錦豊竹座出勤（三弦位

置同ジ）

寶歷十一年三月十一日曾根崎新地豊竹座出勤（二月十四日

道頓堀豊竹座類焼ス依テ曾根崎新地ニ來ル）（前）一ノ谷

嫩軍記（切）八重霞浪花濱荻（かしく十三回忌）

寶歷十二年二月二十四日三好長慶礎軍談豊竹座出勤（三弦

位置同ジ）

寶歷十三年十二月八日番場忠太紅梅簾豊竹座出勤（三弦位

置同ジ）

明和元年四月十日官軍一統志豊竹座出勤（三弦位置同ジ）

明和元年十二月十五日いろは歌義臣整豊竹座出勤（三弦位

置同ジ）

明和二年三月十六日敷島操軍記豊竹座出勤（三弦位置同ジ）

同年七月二十五日内助手柄淵豊竹座出勤（三弦位置同ジ）

明和三年正月十四日本朝廿四孝竹本座出勤（三弦筆頭初代

鶴澤文藏筆止鶴澤寛治ナリ）（寫真版参照）

同年七月十八日小夜中山鐘由來竹本座出勤（三弦位置同ジ）

同年十月十六日太平記忠臣講釋竹本座出勤（三弦位置同ジ）

明和四年五月六日四天王寺雅木像竹本座出勤

同年六月十二日夏祭浪花鑑（二度目上演）竹本座出勤（三

弦位置同ジ）

同年八月四日（前）花軍壽永春（切）關取千兩幟竹本座出

勤（三弦位置同ジ）

同年十二月十四日三日太平記竹本座出勤（三弦位置同ジ）

明和五年六月一日傾城阿波鳴戸竹本座出勤（此時皆太夫付

ニテ役場ハ第六ノ奥掛合）（竹本倉太夫竹本綱太夫竹本君

太夫三弦寛治第七道行竹本筆太夫竹本尾上太夫竹本倉太夫

三弦寛治第八奥竹本島太夫三弦寛治ナリ)

明和六年八月一日殿造千丈嶽豊竹萬三座本出勤(三弦筆頭

寛治筆止初代鶴澤文吾ナリ)

明和七年九月十九日源平鶴嶋越豊竹此吉座本出勤(三弦筆

頭筆止別箱鶴澤重次郎ナリ)

安永二年四月六日伊達娘戀緋鹿子豊竹此吉座本出勤(三弦

筆頭寛治筆止二代目鶴澤三二ナリ)

安永三年八月十三日花襷會稽褐布染豊竹此吉座本出勤(三

弦筆頭寛治筆止鶴澤名八ナリ)

安永四年正月廿九日軍衛出口柳豊竹此吉座本出勤(三弦位

置同ジ)

安永六年三月廿六日伊賀越乗掛合羽北堀江市の側芝居豊竹

此吉座本出勤(三弦筆頭寛治筆止鶴澤名八)

安永七年八月十六日讚洲屏風浦同座出勤(三弦筆頭寛治筆

止鶴澤三二ナリ)

天明元年九月廿三日合詞四十七文字同座出勤(三弦位置同

ジ)

同年十一月三十日座本豊竹此吉市ノ側芝居ニテ(前)淨瑠

璃式三番叟翁豊竹梶太夫二代目鶴澤龜次郎千歳豊竹房太夫

鶴澤吉次三番叟豊竹此太夫鶴澤寛治(中)菅原傳授手習鑑

(切)碁大平記白石晰(三弦筆頭寛治筆止鶴澤龜次郎筆上

二枚目鶴澤吉次)

天明二年九月廿六日吾妻海道茶屋娘北堀江座出勤(三弦位

置同ジ)

天明三年四月六日同座(前)芦屋道滿大内鑑(中)双蝶々

曲輪日記(切)碁大平記白石晰(三弦筆頭寛治筆止鶴澤東

五郎)

天明四年三月三日市ノ側豊竹此吉座本出勤(前)三莊太夫

五人娘(中)義經千本櫻四ノ切豊竹時太夫(三弦鶴澤寛治

(次)傾城阿波鳴戸(切)女舞劔楓葉(三弦筆頭鶴澤文藏

筆止寛治)

天明七年九月廿六日道頓堀東芝居ニテ廓景風雪ノ茶會(三

弦筆頭筆止初代鶴澤清七)

同年十二月廿三日韓和聞書帳同座ニテ(三弦筆頭寛治)

鶴澤清七筆下別箱ニ江戸三二事鶴澤蟻鳳)

寛政元年二月廿一日道頓堀大西芝居豊竹此吉座本ニテ木下
狭間合戦(三弦筆頭寛治筆止竹澤鶴佐和)

同年七月十九日兒淵東軍記同座ニテ(三弦筆頭寛治筆止鶴
澤蟻鳳)

同年八月十五日有職鎌倉山北堀江市ノ側芝居豊竹此母座本
ニテ(筆頭鶴澤清七筆止鶴澤時藏中軸ニテスケト入レ鶴澤
寛治)

寛政元年九月八日天王山杜鵑合戦道頓堀東芝居座本豊竹此
吉ニテ(三弦筆頭寛治筆止鶴澤蟻鳳)

寛政三年三月四日北堀江市ノ側芝居豊竹此母座本ニテ雕刻
左小刀(三弦筆頭鶴澤寛治筆止鶴澤蟻鳳筆下別ニ江戸野澤
庄次郎)

同年四月廿七日同座ニテ(前)那須ノ與市西海硯(中)花楓
都模様(次)義經千本櫻(切)傾城阿波鳴戸(大切)妹春
門松(三弦位置同ジ)

寛政四年三月廿五日同座ニテ濱千鳥大内軍記(三弦筆頭鶴

澤寛治筆止鶴澤清七)

寛政四年七月廿五日北堀江市ノ側豊竹此母座本ニテ(前)
倭歌月見ノ松(中)堀江藝子ノ紀元(切)近頃河原達引(三
弦位置同ジ)(寫眞版参照)

同年八月廿九日同座ニテ(前)大平記菊水卷(中)豊竹筑
前少掾廿五回忌追善一ノ谷嫩軍記三ノ切豊竹此太夫三弦鶴
澤寛治(切)近頃河原達引堀川ノ段豊竹七重太夫三弦鶴澤
清七(三弦位置同ジ)

同年九月廿八日同座ニテ(前)攝津長柄人柱(切)義仲勳
功記三ノ切一世一代出語り豊竹此太夫三弦鶴澤寛治(三弦
位置同ジ)

寛政六年十二月廿八日道頓堀西ノ芝居座本豊竹虎次郎(前)
攝津長柄人柱(中)赤松圓心綠陣幕(次)伽羅先代萩御殿
ノ段(江戸土産)(口)豊竹文字太夫(切)豊竹越太夫三弦
野澤庄次郎(切)染模様妹春門松(生玉ノ段)豊竹源太夫
(質店ノ段)豊竹此太夫三弦鶴澤寛治(三弦筆頭鶴澤清七
筆止野澤庄次郎)(太夫付キ鶴澤寛治)

寛政八年十月廿二日市ノ側芝居座本鶴澤文五郎歌中山由緒

聞書（三弦筆頭鶴澤京長筆止富澤喜八）（別箱放シテ寛二

改メ鶴澤花蝶軒）

寛政十年正月二日市ノ側芝居座本豊竹時大夫ニテ適手術菊

ノ簇上（三弦筆頭鶴澤清七筆止鶴澤傳吉）（筆下別箱鶴澤

寛治）

是ヨリ引退觀西翁トナラレ御祝儀高砂相生ノ松等ノ手付ア

リ老後ヲ養ハレ長壽ナリシトゾ（逝去年月不詳）高砂相生

ノ松（寫眞参照）

戒名釋教僊

二代目 鶴澤寛治略歴

天明五年十二月五日道頓堀若太夫座へ始メテ初代寛治門人

鶴澤義七ニテ出勤引續キ道頓堀筑後座大西座諸座へ出勤文

化三四年ノ頃ニ（年代不詳）二代目鶴澤寛治襲名

文化五年十月十一日北新地竹本ノ太夫座本ニテ筆頭ノ位置

トナル

文化六年二月十六日天神社内芝居吉田龜吉座本出勤（番付

寫眞版参照）

同年十二月廿五日北新地竹澤龜吉座本ニテ（鶴澤傳吉筆頭

ニテ筆止メノ位置トナル）

文化七年二月九日同座出勤

同年九月廿五日御靈境内豊竹多賀太夫座本ニテ出勤筆頭ナ

リ

文化八年七月吉日道頓堀大西座出勤筆頭ナリ

文化九年正月二日荒木萬吉座本出勤筆頭ナリ

（引退及ビ逝去ノ年月行年モ不詳）

三代目 鶴澤寬治略歴

寛政九年五月五日道頓堀東ノ座竹澤猪之松座本へ始メテ初
代寛治ノ門人二代目文吾ニテ出勤（初代文吾ハ始メ大西清
次郎改メ大西文吾再改メ鶴澤文吾トナリシ人明和六年ノ頃
鶴澤文藏筆頭又ハ初代鶴澤寛治筆頭ニテ筆止ノ位置ナリ
キ）三弦筆頭野澤吉兵衛ナリ

寛政十年三月九日堀江市ノ側豊竹越太夫座本出勤

同年十月十五日同座出勤三弦筆頭鶴澤伊八筆止竹澤宗七

寛政十一年七月十二日道頓堀若太夫座豊竹諏訪太夫座本へ

出勤三弦筆頭鶴澤清七筆止鶴澤三二

同年十月十四日同座出勤三弦筆頭竹澤彌七筆止松雨齋

同年十二月廿八日同座出勤太功勝間攻三弦位置同ジ

寛政十二年五月廿八日道頓堀大西座吉田龜次郎座本へ出勤

夏祭浪花鑑三弦筆頭鶴澤立花筆止鶴澤文吾ナリ

享和元年二月十一日大西座竹本岡太夫座本へ出勤

同年十一月三日道頓堀東ノ座豊竹吉太郎座本出勤

同年十二月廿七日同座へ出勤

文化四年九月十日道頓堀大西芝居吉田芳松座本へ出勤此時

鶴澤三二筆頭ニテ筆止ノ位置（此後五ヶ年出勤不詳）

文化九年二月中旬南都瓦堂芝居鶴澤住藏座本出勤（二代目

文吾改メ鶴澤八兵衛トナル）

文化九年三月三日御靈境内豊澤虎藏座本へ出勤（二代目文

吾改メ鶴澤八兵衛）（寫真版参照）

同年四月八日同座へ出勤三弦筆頭豊澤廣助筆上二枚目鶴澤

八兵衛

同年五月六月同座へ出勤三弦筆頭豊澤廣助ニテ筆止鶴澤八

兵衛

同年八月五日御靈境内吉田梅吉座本へ出勤筆止ナリ

同年九月六日道頓堀竹田芝居豊竹由松座本出勤筆頭トナル

筆止鶴澤才治

同年十二月廿六日道頓堀大西芝居竹田三太郎座本出勤三弦

位置同ジ

文化十三年八月廿三日六角堂境内津川大吉座本出勤豊澤

廣助座頭ニテ八兵衛改メ三代目鶴澤寛治トナル是ヨリ引續
キ出勤有リシガ座名年月詳カナラズ
文政四年三月十一日逝去 寛好淨遊信士

四代目 鶴澤寛治略歴

文化八年五月十七日御靈境内竹澤虎藏座本三代目寛治門人
幼名鶴澤富藏ニテ始メテ出場

文政元年正月吉日稻荷境内竹本喜代太夫座本ニテ富藏改メ
三代目文吾トナル引續キ諸座出勤

文政八年七月十七日御靈境内豊竹元三郎座本ニテ(筆頭竹
澤彌七此ノ時筆止ノ位置ナリ)

文政九年一月吉日座摩境内鶴澤新十郎座本ニテ役場賢女鑑
十ノ切竹本筆太夫ニテ三代目文吾改メ四代目寛治トナル

(此時ノ位置太夫付)(寫眞版参照)

文政十年五月十七日御靈境内鶴澤秀次郎座本ニテ文藏ヲ別
ニシテ筆頭トナル

文政十年六月八日堀江荒木芝居ニテ筆頭トナル役場先代萩

御殿場太夫竹本筆太夫ナリ

文政十一年七月十五日御靈境内吉田小竹座本鶴澤勝治郎ヲ
別ニ筆頭ナリ

文政十二年正月十九日御靈境内吉田小竹座本筆頭竹澤彌七
ニテ筆止メトナル

文政十二年八月四日御靈境内吉田小竹座本ニテ勝治郎改メ
清七別箱ニシテ筆頭ナリ

天保元年三月市ノ側鶴澤福藏座本竹澤兵吉筆頭筆止メナリ
同年八月十日御靈境内吉田小竹座本竹澤彌七筆頭ニテ筆止

メ
同元年九月一日市ノ側豊澤仙六座本ニテ筆頭ナリ

天保二年一月二十九日市ノ側豊竹市松座本ニテ竹澤兵吉筆
頭ニテ筆止メ此時琴責メ掛合役場ナリ太夫ハ巴太夫住太夫

三根太夫

天保三年三月市ノ側豊竹市松座本竹澤兵吉筆頭ニテ筆止メ
ナリ

同年二月三月トハ同座ニ出勤筆頭ナリ

天保五年正月十一日御靈境内鶴澤元三郎座本筆頭ナリ

同年四月誓願寺津川大吉座本ニテ筆頭ナリ

同年七月稻荷境内榎屋五兵衛座本ニテ筆頭ナリ

天保五年十二月廿六日同座出勤祇園祭禮信仰記(寫真版参照)

夫レヨリ引續キ天保七年五月迄同座へ出勤

天保七年八月京都誓願寺芝居津川太喜一座本出勤助座ナリ

天保八年正月十四日御靈境内鶴澤元三郎座本ニテ筆頭

天保十年七月十五日稻荷境内榎屋五兵衛座本ニ出勤

天保十年九月一日ヨリ同座ニ出勤此ノ時ヨリ筆上別箱ニ入

ル

同年九月二十九日ヨリ同座ニ出勤

同年十一月一日ヨリ同座ニ出勤

天保十一年正月稻荷境内榎屋五兵衛座本ニ出勤

同年二月二十三日ヨリ同座出勤

同年四月二十六日ヨリ同座出勤

天保十一年七月十七日御靈境内豊竹いづみ太夫座本出勤

同年八月十九日同座出勤

同年十月十四日同座出勤

同年十一月十九日同座出勤

天保十二年七月二十三日稻荷境内榎屋五兵衛座本ニ出勤

同年八月十五日同座出勤

同年九月廿七日同座出勤

天保十三年正月二日同座出勤

同年三月十七日同座出勤

同年四月廿八日同座出勤

天保十四年八月四條北側芝居(西京)出勤

天保十四年九月道頓堀若太夫座吉田兵三座本出勤

弘化元年四月京都宮川町芝居出勤

同年七月道頓堀竹田芝居桐竹門藏座本出勤

同年八月同座出勤

同年九月同座出勤

弘化二年三月京都四條北側芝居出勤

弘化三年七月十五日道頓堀竹田芝居吉田徳十座本出勤

同年十一月十一日同座出勤

弘化四年正月京都四條北側芝居出勤

同年三月西ノ宮芝居出勤

嘉永二年七月西横堀清水町濱芝居役場ハ加賀見山長局竹本

綱太夫ニテ同勤

安政元年正月西横堀御池橋東話芝居ニ出勤此ノ時寛治改メ

大五郎トナル但シ一芝居ニテ再寛治トナル(寫眞版参照)

安政二年二月十三日岐阜幡芝居此ノ時寛治筆頭

同年十月道頓堀竹田芝居吉田福之助座本寛治ニテ出勤此間

四十五ヶ年ヲ引續キ出勤セラル世ニ大寛治又ハ鬼寛治連有

名ナリ是ヨリ以後伊勢桑名ヘ隱居セラレ後年再ビ歸阪南區

難波ニ在居明治十年ノ頃逝去セラル(年月不詳)

五代目 鶴澤寛治略歴

嘉永二年大阪今宮ニ生ル(南區周防町ニ生レ後年堺市ニ住

居ナセシ)鶴澤寛三郎事寛好ノ養子トナリ大盛寛治郎ト言

フ安政六年ノ頃ヨリ二代目鶴澤豊吉改メ四代目鶴澤傳吉ヘ

入門註(初代鶴澤寛治郎嘉永年間ニ出勤シ安政年間ニ鶴澤

鹿造ト改メ慶應元年五月ニテ引退ス此時名跡ヲ讓ルニ際シ

曰ク自分寛治郎一代ヲ除キ初代鶴澤寛治郎ト名乗レト言讓

ラル其後鹿造ハ明治六年ニ業ヲ換テ五代目竹本春太夫ノ門

ニ入り竹本六ツ太夫トナル)以上ノ理由ニ依リ初代鶴澤寛

治郎ト名乗ル(寫眞版参照)

慶應二年十二月三日傳吉逝去セラレシニ依リ初代徳太郎改

メ初代鶴澤清六ノ預リ門人トナル夫ヨリ以前慶應元年九月

吉日天滿芝居竹本對馬太夫櫓下(前)日蓮聖人御法海(中)

箱根靈驗覺仇討(切)近頃河原達引ニ始メテ出場持役ハ覺

十一ノ口竹本塚太夫三弦鶴澤寛治郎ニテ相勤三弦筆頭鶴澤

清四筆止豊澤猿糸後ノ五代目廣助ナリ

慶應元年十一月吉日天滿戎門豊竹若太夫櫓下(前)本朝廿

四孝(切)名筆吃又平ヘ出勤ス(寫眞版参照)

引續キ慶應年間ハ諸座出勤シ明治初年ノ頃ヨリ一時退座ス

再ビ明治七年二月ヨリ松島文樂座ヘ出勤シ四代目竹本重太

夫ヲ弦ク左ニ持役ヲ掲グ

明治七年二月 松嶋 文樂座

木下蔭狹間合戦之内(日吉丸三ノ切入ル

(寫眞版参照)

同 四月 同 文樂座

八陣守護城八册目ノ切 (寫眞版参照)

同 六月 同 文樂座

ひらかな盛衰記梅ケ枝無間鐘

同 九月 同 文樂座

玉藻前旭袂道春館

同 十一月 同 文樂座

四ツ谷怪談伊右衛門住家

明治八年一月 同 文樂座

菅原傳授手習鑑三段目

同 一月末ヨリ二月渡リ 道頓堀角ノ芝居

大和錦朝日旗揚(吉村寅太郎)通シ
三段目切今辨慶内之段

同 三月 松嶋 文樂座

繪本太功記尼ケ崎ノ段

同 五月 同 文樂座

本朝廿四孝三ノ切

同 六月 同 文樂座

近頃河原達引堀川猿廻

同 九月 同 文樂座

里見八犬傳伴作住家段 (寫眞版参照)

同 九月末ヨリ 堀江芝居

鎌倉三代記三浦別レ之段

同 十月 堀江芝居

妹脊山婦女庭訓杉酒屋之段

同 十一月 道頓堀 竹田芝居

素淨瑠璃ニテ出勤

明治九年一月 松嶋 文樂座

祇園祭禮信長記爪先鼠

同 三月 同 文樂座

妹脊山婦女庭訓鱧七上使

同 四月 同 文樂座

大江山酒吞童子松太夫内段

同 六月 同 文樂座

軍法富士見西行江口揚屋段

同 七月 同 文樂座

箱根靈驗記璧仇討瀧段

同 九月 同 文樂座

万戸將軍唐日記滿月住家段

同 十一月 同 文樂座

御所櫻堀川夜討辨使ノ段

此時文樂翁附作シテ大落シノ後へ土佐坊昌俊ノ出ル様書添ヘル

同 十二月 大江橋 橋畔席

奥州安達ヶ原三ノ切

明治十五年一月 松嶋 文樂座

金門五三桐大佛餅屋段

同 二月

道頓堀辨天座へ素淨瑠璃ニテ出座

同 三月 松嶋 文樂座

鏡山古郷錦繪長局之段

此興行ニテ暫ク退座ス

同 七月 地方巡業

同 八月 京都南側劇場

菅原傳授通シ狂言ノ中繪本大功記

十段目ノ切 (寫眞版参照)

同 九月 大江橋 橋畔席

木下蔭狹間合戦竹中砦段

同 十一月 同 橋畔席

伽羅先代萩政岡忠義段

明治十一年始メヨリ九州地方ヲ巡業ス一座ノ
顔振ハ左ノ通り

竹本勢尾太夫
鶴澤寛八
竹本小勢見太夫
竹澤彌之助
竹本山登太夫
鶴澤寛之助
竹本朝太夫
豊澤仙治郎
竹本額太夫
豊澤松太郎
竹本勢見太夫
豊澤仙系
竹本重太夫
鶴澤寛治

座中仙糸ハ後年六代目廣助後ニ名庭弦阿彌ナリ

竹本朝太夫豊澤松太郎ト有ハ現在東京ノ兩氏ナリ寛八ハ現
在ノ七代目豊竹時太夫ナリ

明治十二年一月ヨリ七月終リマデ東京市横濱市ヲ巡業ス一
座顔振ハ左ノ通り(素淨瑠璃)

豊竹光太夫
鶴澤小寛
竹本新重太夫
鶴澤鶴太郎
竹本阿蘇太夫
鶴澤寛八
竹本額太夫
鶴澤鶴太郎
竹本重太夫
鶴澤寛治

座中鶴澤鶴太郎ハ二代目ナリ因ニ當一座歸路ニ静岡ヘ立ヨ

リ此時福太郎ヨリ三代目鶴太郎改メ三代目叶再改三代目鶴
澤清六ハ鶴澤鶴太郎氏ヘ入門養子トナシ大阪ヘ連來ル以上
兩度巡業中ノ事項ハ五代目寛治ノ日記ノ中ヨリ拔萃ス

明治十三年辰十一月 松嶋 文樂座

鎌倉三代記 三浦別段

明治十四年己年一月 松嶋 文樂座

大江山酒吞童子松太夫内段

同 三月 同 文樂座此時大入ニテ五月
三十日迄打續ケル

妹脊山婦女庭訓二段目切前半段

四段目切御殿之段 (寫眞版參照)

同 六月 同 文樂座

芹屋道滿大内鑑葛の葉狐別段 (寫眞版參照)

以上兩度巡業中ノ事項ハ五代目寛治ノ日記ノ中ヨリ拔萃ス
上ノ内明治十四年三月妹脊山興行中五月十一日ヨリ發病シ
二段目前半ハ鶴澤綱造(後ニ勝右衛門ヨリ七代目鶴澤清七)
代リ役、御殿ノ段ハ野澤吉三郎(後ニ六代目野澤吉彌)代
リ役ヲ勤メラル尙六月興行あしや狐別ノ段ハ始メヨリ出勤
出來ズ鶴澤清次郎(現在東京ノ三代目鶴澤勝鳳)代リ役勤
メラル是ヨリ終ニ立ズ明治十七年二月五日逝去ス
行年卅六歲

索引參考書類

近世邦樂年表 東京音樂學校編纂

音曲叢書 演藝珍書刊行會發行

淨瑠璃大系圖 天保十三年刊行

四代目竹本長登太夫編纂 木谷蓬吟氏所藏

大系圖

義太夫大鑑 秋山清氏編纂

古代諸座番付 二見文次郎氏所藏

古代諸座番付 二代豊竹古鞠太夫氏所藏

攝取院光譽明染禪定門

大阪下寺町遊行寺
本名橋氏金屋美吉郎
六世 竹本染太夫
明治二年四月晦日
行年七十三歲

音譽響流禪定門

大阪天王寺
竹屋利兵衛
五世 竹本港太夫
明治十年六月廿五日
行年七十歲

顯直院日性信士

兵庫縣今津妙見堂(西宮)
淺井利兵衛
初代 鶴澤勝七
明治十二年八月二十四日
行年六十八歲

妙法園林院聲說日導信士

中寺町圓妙寺京都鳥邊山分骨
四世 野澤吉兵衛
明治十四年十二月三十日

釋 教 鍵

大阪阿倍野墓地
永井卯兵衛
初代 鶴澤重造
明治五年四月十二日
行年五十一歲

圓壽院春功日遊信士

大阪谷町八丁目正覺寺
長原彌三郎
五世 竹本春太夫
明治十年七月二十五日
行年七十歲

鶴山靈翁信士

二世 鶴澤吉左衛門
明治十三年十月

釋 音 淨 信 士

大阪北區北野野崎町蓮華寺
前田孫兵衛
二世 鶴澤綱造
明治十五年十一月二十五日

竹本津賀太夫

東京回向院
長谷川安兵衛

釋 古 圓

大阪天王寺
木村彌七
初代 豐竹古鞞太夫
明治十一年二月二十四日
行年五十二歲

感應院瑞譽吉祥信士

長尾安治郎
野澤吉作
明治十四年六月十九日

釋 波 逢 染 道 信 士

播磨新三郎
七世 竹本染太夫
明治十六年六月十一日
行年七十二歲

絲道徹之禪定門

京都 東山
(大三味線彈)
七世 竹澤彌七
明治九年九月十八日
行年四十六歲

釋 一 道

大阪生玉寺町青蓮寺
泰 久右衛門
三世 豐澤濱右衛門
明治十二年四月十五日
行年四十九歲

釋 教 壽

大阪逢坂一心寺
山本壽三郎
竹本山城掾藤原兼房
明治十四年十月廿二日
行年八十二歲

誠 譽 覺 道 禪 定 門

大阪天王寺一心寺
神谷佐吉
二世 豐竹鞞太夫
明治十六年六月二十八日

熊本市清正公寺内
道具屋松次郎
鶴澤清四
了欽
明治十六年八月十六日
行年六十一歲

東京川崎市大師境内
齋藤太市
六世 竹本綱太夫
竹菌院譽業德義本居士
明治十六年九月二十四日
行年四十四歲

新潟市寺町不動院
小山平吉
六世 豐竹嶋太夫
釋 善念
明治十七年二月十六日
行年四十九歲

京都市上京區智惠光院
井川扇助
初代 竹本長尾太夫
洗垢淨照法韻居士
明治十七年四月三日
行年七十五歲

津田熊次郎
八世 竹本染太夫
法眞染道信士
明治十七年六月十八日
行年四十一歲

佐々木
竹本むら太夫
釋 教思
明治十七年九月十七日

大阪上本町五丁目専念寺
初代 豐澤新三郎
顯譽高詮禪定門
明治十八年一月二十一日
行年三十二歲

大阪天王寺生玉町大乘寺
(天滿) 中村
六世 野澤喜八郎
蓮譽喜生禪定門
明治十八年六月二十一日

大阪中寺町慶恩寺
平野屋吉兵衛
二世 豐澤大助
淨譽廣音禪定門
明治十八年十二月二十八日
行年五十六歲

大阪下寺町口繩坂角善龍寺
稻垣新助
初代 豐澤新左衛門
松騰院譽譽神旭禪定門
明治十九年一月六日
行年五十四歲

大阪清水寺
吉倉玉助
玉造倅 吉田玉助
清月天風信士
明治十九年七月三日

大阪市天王寺生玉町長圓寺
重太夫事殊近藏
竹本政太夫
森見院法譽重翁憲禪定門
明治十九年八月五日
行年六十二歲

大阪北區東寺町寶珠寺
田中卯三郎
二世 鶴澤鶴太郎
一雲院鶴遊信士
明治十九年八月二十九日
行年二十九歲

東京淺草榮久町仙藏寺
佐久間清八
初代 鶴澤清八
鶴清院顯譽順性信士
明治十九年十月四日
行年六十五歲

東京府下多摩墓地
瀧本嘉吉
六世 竹本中太夫
釋 覺法
明治二十年二月十九日
行年七十六歲

大阪北區浦江町妙壽寺
岡本彌太郎
五世 豐竹駒太夫
釋 善駒
明治二十年七月十一日

大阪天王寺東門壽法寺
津田佐吉
清七世 鶴澤勝治郎
釋 誠賢信士
明治二十一年五月二十九日
行年七十三歲

京都上京智惠光院通り一條上ル
智惠光院 安藤長右衛門
鶴澤鱗糸
圓覺淨光明然居士
明治二十一年四月二十一日
行年四十五歲

墓紀州ニアリ
竹中喜喜松
四世 竹本住太夫
研眞院明音居士
明治二十二年一月廿二日
行年六十一歲

竹本春戸太夫
道喜
明治二十二年三月十日

北海道函館
塚本嘉吉
竹本濱太夫
好學調音信士
明治二十三年十月十日

大阪天王寺内
樋口吉兵衛
四世 竹本長門太夫
本壽院日長信士
明治二十三年十月二十二日
行年七十七歲

大阪南下寺町遊行寺
橋新兵衛
二世 鶴澤叶
橘泉院潤譽可葦居士
明治二十五年十月五日

東京淺草今戸本龍寺
高橋猶六
竹本文字太夫
灌頂
明治二十六年八月五日
行年六十七歲

東京淺草新堀信入院
菅濃次郎兵衛
二世 鶴澤燕三
音譽達道信士
明治二十六年八月十九日
行年五十五歲

遊行寺 川名金次郎
二世 竹本長尾太夫
金獅院猛踞眞性居士
明治二十六年十月二十九日
行年五十歲

京都鳥邊山本壽寺
田村常吉
鶴澤三二
常樂
明治二十七年九月三十日
行年四十二歲

竹本町太夫
宗春
明治二十七年十月三日

京都鳥邊山本壽寺
清水友治郎
五世 鶴澤友治郎
觀譽紫連壽翁禪定門
明治二十八年八月四日
行年八十一歲

藤瀬源助
二世 竹本南部太夫
釋 大悟信士
明治二十九年四月十四日

大阪北區東寺町寶珠寺
石川彦三郎
初代 竹本路太夫
斬淨
明治三十年八月十四日
行年五十三歲

大阪住吉區阿倍野墓地
加古仁平
二世 豊澤團平
大達絲道居士
明治三十一年四月一日
行年七十二歲

東京府八幡塚四一善永寺
巴丑松

釋昇道信士

竹本久太夫
明治三十一年十月廿四日
行年四十六歲

東京兩國回向院
加藤房治郎

竹操院織譽道德喜本居士

二世 竹本織太夫
明治三十三年八月十二日
行年四十七歲

東京高砂源照寺
中知彦兵衛

實桐院音譽綾翁居士

初代 竹本綾瀨太夫
明治三十四年九月二日
行年六十九歲

東京深川淨心寺
大和田傳次郎

木成院明音日傳信士

四世 竹本幡磨太夫
明治三十六年八月二十四日
行年六十五歲

東京瑞江鎌田大雲寺
植松廣右衛門

鶴譽豐禪廣道信士

鶴澤豐造
明治三十三年一月二十八日
行年七十歲

久野友太郎

歸眞日取勝信士

二世 鶴澤勝七
明治三十三年十月四日
行年六十三歲

大阪北區野崎町蓮華寺(堂島)
淺田嘉七

淺深院究竟日等信士

五世 鶴澤清七
明治三十四年十月十二日
行年七十四歲

大阪高津中寺町正法寺
(博勞町)栗原豊助

豐壽院德譽日廣信士

五世 豐澤廣助
明治三十七年二月十八日
行年七十四歲

大阪谷町八丁目妙徑寺

示教院得豐信士

鶴澤傳吉
七世 鶴澤傳吉
明治三十三年二月三日
行年六十一歲

東京築井墓地
成川清吉

春光院文智日遊信士

四世 鶴澤文藏
明治三十四年二月八日
行年六十二歲

四日市市泊町光明寺
式井小兵衛

聲譽調和淨源信士

竹本源太夫
明治三十四年十一月二十一日
行年六十五歲

大阪南清水寺北門
吉倉玉造

玉翁齋祖法信士

初代 吉田玉造
明治三十八年一月十二日
行年七十八歲

大阪西區堀江阿彌陀池和光寺
福田松藏

釋宗俊

豐竹綾太夫
明治三十三年五月二十四日
行年五十二歲

京都仁王門新高倉生蓮寺島邊山
(京都井筒)岸勝治郎

禮讓院仁譽義山勝翁居士

鶴澤紫騰
明治三十四年三月六日
行年五十六歲

東京淺草今戶長昌寺
石井平治郎

深心院圓達日清信士

二代 鶴澤清六
明治三十四年十二月二十一日

大阪天王寺北門內 東京回向院
片岡藤七

釋明善

六代 竹本組太夫
明治三十八年七月二十五日
行年五十九歲

聚德顯道信士

明治三十八年八月

大阪南區千日前芦屋館東裏
墓寺ハ三津寺

三世 竹本對馬太夫

大阪天王寺一心寺

六世 豐竹時太夫

釋孝道

明治三十八年八月十七日
行年七十六歲

田村竹松

(道修町) 山中衆助

野澤吉平

釋正圓

明治三十九年四月十九日
行年六十四歲

大阪生玉前青蓮寺 天王寺一心寺分骨
木谷傳次郎

五世 竹本彌太夫

瑠璃院教傳彌弘居士

明治三十九年十月三十日
行年七十歲

大阪北區富田町常圓寺

上田吉兵衛

初代 竹本呂太夫

釋慧聲

明治四十年三月三十日
行年六十五歲

大阪北區西寺町法輪寺

佐々木熊治郎

二世 吉田玉造

永壽院善譽玉泉信士

明治四十年三月二十三日
行年四十二歲

東京鎌田大雲寺

今西音治郎

六世 鶴澤豐吉

豐譽鶴林淨榮信士

明治四十一年十二月二十七日
行年四十七歲

東京淺草松葉町妙音寺

京谷豐吉

鶴澤才造

敬心日豐信士

明治四十二年六月一日
行年四十七歲

大阪天王寺

吉野卯之助

五世 竹本住太夫

釋誓現

明治四十二年九月二十二日
行年六十三歲

大阪上本町五丁目長安寺

舞羽佐七

二世 鶴澤重造

還譽法道禪定門

明治四十三年四月六日
行年六十七歲

京都仁王門川端東入頂妙寺

小林福太郎

初代 桐竹紋十郎

桐竹院明星日福信士

明治四十三年八月十五日
行年六十六歲

東京淺草道林寺

三輪平太

二世 竹本綾瀨太夫

竹雲軒心譽靜平英綾居士

明治四十四年二月十八日
行年六十四歲

大阪西區堀江阿彌陀池和光寺

瀨鴻幸吉

竹本七五三太夫

良譽幸運禪定門

明治四十四年八月十三日
行年四十八歲

大阪天王寺 (法善寺)

櫻井源助

七世 竹本綱太夫

雲龍軒響譽津海居士

明治四十五年七月二十三日
行年七十四歲

大阪天王寺生玉前町宗惠院

中村榮三郎

野澤吉松

融覺榮光禪定門

大正二年三月二十三日
行年三十七歲

東京淺草吉野町本性寺

横井市松

豐竹和國太夫

蓮華院法臺日成信士

大正二年六月十七日
行年七十六歲

泉州貝塚妙原寺
川崎宗太郎
六世 豐竹駒太夫
常住院宗心日法信士
大正二年七月十一日

大阪東區小橋寺町寶樹寺
井上重吉
竹本大隅太夫
宣暢院響譽居士
大正二年七月三十日
行年六十歲

東京青山墓地淺草老松町
壽松院 成瀬松治郎
三世 野澤語助
榮譽觀光松壽信士
大正三年二月三日
行年八十六歲

大阪上本町四丁目長樂寺
乘川勝治郎
二世 竹本勢見太夫
釋 勢譽見翁居士
大正三年十一月二日
行年九十六歲

大阪阿倍野墓地
鈴木清吉
五世 鶴澤文藏
清室勇音信士
大正四年一月三十日
行年六十二歲

香川縣三豐郡杵田村字
上出在家 秋山瀧造
九世 竹本染太夫
眞月院自高日照居士
大正五年二月十七日
行年六十四歲

京都東山智恵院御廟内
上田彌造
八世 竹澤彌七
觀空喜應絲秀禪定門
大正五年八月一日
行年七十三歲

青木檜治郎
吉田多爲藏
本譽朗然居士
大正五年十月二十一日
行年五十三歲

京都三條東山金臺寺
豐澤榮三郎
二世 豐澤廣左衛門
豐譽無涯深廣居士
大正五年十一月七日
行年八十歲

大阪北區東寺町寶珠寺
(天王寺銅像) 二見金助
竹本攝津大掾
春曉院殿越峯攝翁居士
大正六年十月九日
行年八十二歲

大阪南區鍛冶屋町淨久寺
井上槌太郎
初代 豐澤小團二
釋 義應
大正六年十月十四日
行年六十五歲

東京回向院
石田友太郎
四世 豐澤富助
眞性院豐友信士
大正七年三月十一日
行年五十三歲

山田新治郎
四世 豐澤廣作
清遊軒廣作居士
大正七年五月三十一日
行年五十四歲

大阪おげせ光照寺
佐山種三郎
八世 鶴澤三二
寂光院淨養清風居士
大正七年六月二十九日
行年五十七歲

仁木卯三郎
六世 豐竹岡太夫
秋岳則守信士
大正七年十月八日
行年六十三歲

大阪北區野崎町蓮華寺
前田鹿之助
六世 鶴澤清七
道覺智圓信士
大正九年七月二十九日
行年六十九歲

大阪北區東寺町寶珠寺
佐々木龜治郎
八世 竹本むら太夫
龜譽 鶴峯信士
大正十年二月十日
行年七十九歲

大阪浪速區木津勘助町唯專寺
植畑九市
三世 豐澤團平
慈音院釋團平居士
大正十年五月五日
行年六十三歲

大阪谷町八丁目重顯寺
石田福松
二世 豐澤龍助
潛譽龍天禪定門
大正十年九月十三日
行年七十歲

大阪谷町八丁目中寺町角
無量寺 三木久太郎
野澤吉勝
吉然廓勝信士
大正十年十二月二十二日
行年五十三歲

京都松原廣小路日泰寺
野澤庄治郎
野澤喜八郎
顯實院淨光日喜信士
大正十一年一月三日
行年七十五歲

大阪北區東寺町寶珠寺
田中福太郎
三世 鶴澤清六
鶴林院福澤清水居士
大正十一年一月十九日
行年五十五歲

大阪高津中寺町本行寺
日高大三郎
五世 鶴澤才治
善行院宗遊伯士
大正十一年三月七日
行年五十二

東京淺草松葉町曾源寺
小林重三
五世 竹本播磨太夫
昌光院大量播磨居士
大正十一年三月二十三日
行年六十四歲

大阪天王寺
前田卯之助
三世 竹本南部太夫
誠直院得譽無我南部居士
大正十一年四月二十四日
行年五十八歲

大阪阿倍野淨明寺
榎本龜吉
初代 豐澤富十郎
釋 觀道
大正十一年七月二十八日
行年七十八歲

東京大森地上本町八四木成院
墓隣本文寺 井上清之助
野澤督三
得信院法解日督信士
大正十二年九月一日
行年五十一歲

東京兩國回向院
吉田七良平
豐澤團七
信解院團翁日豐居士
大正十二年九月十一日
行年八十四歲

長谷川長三郎
六世 豐竹港太夫
長豐竹林信士
大正十二年九月二十日
行年五十三歲

大阪天王寺
貴田常治郎
三世 竹本越路太夫
瑞光院寶譽越岸可雪居士
大正十三年三月十八日
行年六十歲

大阪谷町八丁目久本寺
六世豐澤廣助 岩崎治助
名庭絃阿彌
大法院廣立日轟信士
大正十三年三月十九日
行年八十三歲

大阪天王寺六万休町吉祥寺
松井福松
六世 野澤吉兵衛
釋 隆心
大正十三年六月四日
行年五十七歲

釋 雅亮

大阪天王寺
竹内龜松
六世 竹本彌太夫
大正十三年六月六日
行年五十九

禮樂院常轉日教信士

小林松之助
四世 鶴澤勝七
大正十四年十月
行年六十四歲

一道院錦糸日精信士

大阪北區東寺町淨正寺
金谷朝治郎
野澤錦糸
大正十五年一月廿一日
行年三十七歲

釋 教證

中川小太郎
竹本淀太夫
大正十五年三月七日
行年四十九歲

鶴翁壽仙居士

大阪天王寺
鶴澤重助
五世 竹澤權右衛門
大正十五年四月十三日
行年八十八歲

釋 宗順

京都東本願寺へ納骨
井上七兵衛
竹本越登太夫
大正十五年六月二日
行年三十八歲

善譽暘音禪定門

大阪天王寺
淺野善五郎
竹本雛太夫
大正十五年八月十三日
行年五十六歲

眞性院覺山慈照居士

中野卯之助
吉田玉藏
大正十五年九月九日
行年六十八歲

靈譽愛玩文三居士

大阪下寺町源正坂源正寺
順賀幸三郎
四世 吉田文三
昭和二年二月十三日
行年六十五歲

春曉院聲樂小清大姉

東京淺草榮久町仙藏寺
佐久間ハル
清八娘 竹本小清
昭和三年二月八日
行年六十五歲

靈臺院西岸通到居士

西村松之助
鶴澤文馱
昭和三年二月十八日
行年七十三歲

釋 教語

京都堀川六角瑞蓮寺
北脇三郎
四世 竹本實太夫
昭和三年四月十三日

實語院究意日遊信士

大阪天王寺
福井清吉
竹本春子太夫
昭和三年五月五日
行年六十二歲

釋 秀才

大阪天王寺
吉田專之助
六世 鶴澤才治
昭和四年三月二十六日
行年四十歲

智光院轉譽妙音瓊玉大姉

大阪南下寺町大蓮寺
永田仲
豊竹呂昇
昭和五年六月七日
行年五十七歲

龍光院音譽聞法知聲居士

笠井金吾
竹本生駒太夫
昭和五年八月二十四日
行年五十五歲

大阪阿倍野墓地
堀卯兵衛
二世 豊竹呂太夫
敬 信

昭和五年九月廿六日
行年七十四歳

大阪下寺町三丁目大覺寺
土肥原伊太郎
四代 野澤勝市
高岳院眞譽哲翁居士

昭和六年一月五日
行年五十歳

東京市京橋築地本願寺内圓正寺
佐原民之助
三世 鶴澤重造
正 音 信 士

昭和六年二月一日
行年六十六歳

高野山
小林長十郎
豊澤源吉
智 淨

昭和六年八月二十五日
行年四十八歳

堀江太吉
八世 豊澤傳吉
昭和七年二月日
行年七十三歳

平野吉兵衛
三世仙糸改メ 豊澤大助
齊 譽 淨道居士

昭和七年八月十五日
行年六十九歳

京都市岡崎法勝寺町滿願寺
畑中芳之助
庄次郎改メ 野澤喜八郎
淨心院信敬日芳信士

昭和七年十一月三十日
行年七十八歳

大阪天王寺區下寺町四丁目泰聖寺
初代 豊竹百合太夫
了 春

寶曆十二年七月十八日

大阪天王寺區生玉寺町江寺
初代 竹本越太夫
享和二年四月十九日
俗名宗兵衛二代 竹本越太夫
俗名安兵衛三代 竹本越太夫

大阪南區千日前自安寺
初代 豊竹麓太夫

覺種院從緣日起
享和三年五月建之

大阪北區西寺町不動寺
二代 豊竹八重太夫
了 善

寛政五年十月晦日
行年五十歳

大阪北區西寺町不動寺
竹本蔦太夫

寛政六年五月

大阪北區西寺町法界寺
四代目 竹本政太夫
專譽教政禪定門

天保四年七月廿三日

大阪天王寺下寺町四丁目泰聖寺
初代 竹澤濱右衛門
仁譽義曉禪定門

弘化二年十月十五日

七代目 竹本咲太夫 墓碑
不明ニ付キ御存ノ方ハ御一報ヲ希フ

御 挨拶

さきに特志の方々に依つて斯道大家名匠の經歷及び實情を詳細に御照會下され我々は非常に有益に成り悦んで居ります此企は幾百の御辛苦が伴つたと承りました私は豫々祖先鶴澤寛治家累代の事跡を分り易く致し度と存じて居ますが五代目鶴澤寛治は三十六才の早逝で私の入門致しました明治十六年には(私は當時十一歳)最早病臥中で藝風は勿論の事顔もよく覚えません様な次第です而し入門の當時から私を養子にする話に進んで居りましたので師が亡なられると直に大盛家に入籍致しました(私は井上の姓でした遺族の人は其當時に離散致しましたので私は實家で養育を受けました)遺言に依り明治十七年の初に六代目野澤吉彌の預り門人と成りましたが不幸にして師も又十九年十二月に他界せられたので再び五代目野澤吉兵衛へ預り門人と成りました斯様に私自身に於きましても非常に波瀾が有りましたので残念ながら寛治家の事は一切が不明で有ますそこで臆げながら人様より承つた事を便りに種々手を盡して永年探ねます中遇然にも初代三代のお墓が見當りましたので、(二代四代は未だ發見出来ません)幸

ひ今年は先師（養父）の五十回忌に當りますので是を機會に阿倍野墓地に新しく境圍を求め前述初代三代のお墓と未發見の二代四代のお墓を新たに建立致しまして養父も共に此一劃に合祠して將來寛治の名跡を受繼だ者は此墓地に葬り寛治一門は永遠にお護りをする事に取きめました今日法要を營みまするに當り先に捜査の折柄發見致しました諸名匠方又近年に亡なられしお方々の御冥福をも併せ祈りて施我鬼供養を執行致します今日此事を行ひますに就而各位の御協力下さいました事を厚く感謝致しますと同時に此後も寛治家の事に對し御聞及びの事共は御教示を切に御願申上ます先はおぼつかながら御披露御挨拶申上ます

追て記事中總ての尊稱を簡略致しました事は御寛容願ひ上ます（尙高砂、四海波の集字御不明の箇所は御問合を乞ふ）

昭和八年二月五日

二代目 鶴澤寛治郎 口述

各 位 様

東京回向院墓地ニ有
城洲伏見之人

初代 竹本津賀太夫

瑤聲院秀節通雅居士

天保八年五月二日

行年七十三歲

二代目 竹本津賀太夫

清聲軒秀節高謠信士

文久三年五月廿一日

行年六十七歲

東京小石川區瀧ノ川講安寺
上田久兵衛 和佐太夫改メ
五世 竹本津賀太夫

釋 玄道 信士

明治三十二年四月十八日

大阪南區中寺町本行寺
鈴木庄造 生嶋太夫改メ

三世 竹本大嶋太夫

大法院修得日淨信士

大正四年十二月七日

行年六十二歲

九枚目裏上段 寫真版説明ノ内七世咲太夫ハ四世

傳吉ノ太夫四世重太夫改メ政太夫ハ五世寛治ノ太

夫初代古頼太夫ハ初代清六ノ太夫ナリ

十枚目表中段 四代鶴澤傳吉行年四十二歲ハ四十

六歲

同段 五代鶴澤寛治明治十七月貳月五日ハ明治十

七年二月五日

同下段 五代鶴澤仲助墓地ハ大阪天滿法正寺ニアリ

十七枚目表下段 七代竹本染太夫釋波ハ浪ナリ

十七枚目裏上段 鶴澤清四明治十六年ハ明治十七

年ナリ

同段 六世竹本綱太夫竹蘭院綱譽業德義本居士ナリ

同三段 重太夫改メ政太夫森見院法譽重翁政憲禪

定門ナリ

十八枚目表上段 初代住太夫竹中喜喜松ハ竹中喜

代松ナリ

同二段 二代叶橋泉院潤譽可葎居士ハ叶葎居士行

年ハ五十七歲

十八枚目裏二段 二代勝七歸眞日取勝信士ハ最勝

信士ナリ

十八枚目裏下段 四世幡磨太夫ハ幡磨太夫ナリ

十九枚表二段 初代竹本呂太夫ハ豊竹呂太夫ナリ

同三段 二世鶴澤重造行年六十七歲ハ七十五歲ナ

リ 同裏上段 六世駒太夫行年ハ四十七歲ナリ

同段 三代目大隅太夫宣暢院譽譽居士ハ宣暢院譽

譽流音居士行年六十三歲ナリ

廿枚目裏三段 四世竹本實太夫本名北脇三郎ハ卯

三郎ナリ

廿一枚目表下段 四世竹本政太夫本名ハ若狭谷藤

助行年八十三歲ナリ

廿一枚目表二段 傳吉

京都鳥邊山本壽寺

堀江太吉

(八世 鶴澤傳吉)

大譽傳光祥安禪定門

昭和七年一月十七日

(行年七十三歲)

昭和八年一月二十五日印刷
昭和八年二月五日發行

(非賣品)

大阪市北區曾根崎新地二丁目四八地

鶴澤寬治郎事

編輯兼
發行人

大盛千之助

大阪市東區住吉町一九番地

印刷人 高橋又三郎

大阪市東區住吉町一九番地

印刷所 共榮堂印刷所

電話東二一八七番